



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 ダイトウボウ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山内 一裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理本部長 (氏名) 三枝 章吾

TEL 03-6262-6557

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,017	10.8	96	19.7	66	32.6	42	33.8
29年3月期第1四半期	1,141	11.9	119	63.8	50	418.2	31	52.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 55百万円 (%) 29年3月期第1四半期 15百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	1.42	1.42
29年3月期第1四半期	1.06	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	18,788	4,385	23.3
29年3月期	19,093	4,329	22.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 4,384百万円 29年3月期 4,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,270	0.4	200	1.0	135	45.0	110	73.6	3.67
通期	4,800	2.1	420	0.7	290	8.4	240	53.8	8.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	30,000,000 株	29年3月期	30,000,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	67,998 株	29年3月期	67,698 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	29,932,152 株	29年3月期1Q	29,933,787 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、総じて緩やかな回復基調で推移しました。個人消費の一部で回復の遅れが見られる状況であったものの、輸出や設備投資など各部門で持ち直し傾向となりました。ただし、海外経済の不確実性などに注意を要する状況が続きました。

事業環境につきましては、概ね持ち直し傾向となりつつあるものの、衣料品や家庭用品関係および一部高額商品などでやや軟調な動きとなった部門がありました。

このような状況の中で、当社グループは、引き続き「中期経営計画 Bridge to the Future ～未来への架け橋～」に基づく諸施策に取り組むとともに、来年度からの次期中期経営計画を睨み、一段と強固な事業基盤作りに鋭意取り組んできております。商業施設事業においては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、将来的な課題としての追加開発の可能性に関する予備検討を続けるとともに、本年4月に開業20周年を迎えた機会を捉え、集中的に広告活動を実施するなどの20周年企画に注力しました。ヘルスケア事業部門と繊維・アパレル事業部門においては、一部市況の影響を受け厳しい結果となったものの、顧客への提案力を含む営業力の一段の強化に取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、商業施設事業における前年同期の臨時的な収入がなくなったことや健康関連および衣料品関連の一部OEM販売先の伸び悩みを主因に、売上高は10億17百万円(前年同期比10.8%減)、営業利益は96百万円(前年同期比19.7%減)となりました。経常利益は、前年同期に発生した一過性の営業外費用がなくなったことから、66百万円(前年同期比32.6%増)と増益となり、これに法人税等の負担を考慮した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は42百万円(前年同期比33.8%増)と前年同期比増益での着地となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(商業施設事業)

商業施設事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」における20周年企画の効果により来店客や施設取扱高は前年同期を上回る実績となったものの、前期に計上した臨時的な収入がなくなったことが響き、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、商業施設事業の売上高は5億74百万円(前年同期比5.9%減)、営業利益は2億31百万円(前年同期比16.4%減)となりました。

(ヘルスケア事業)

健康ビジネス部門につきましては、当社独自技術のバイオ麻商品において一部OEM先の販売が伸び悩んだことを主因に、売上高は前年同期を下回りました。一般寝装品部門につきましては、掛布団に関する提案営業の成果を主因に、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、ヘルスケア事業の売上高は2億2百万円(前年同期比6.9%減)、営業損失は13百万円(前年同期は営業損失4百万円)となりました。

(繊維・アパレル事業)

衣料部門につきましては、市況が軟調な布帛関連の一部OEM取引先での販売が伸び悩んだことを主因に、売上高は前年同期を下回りました。ユニフォーム部門につきましては、新規受注が伸びず、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、繊維・アパレル事業の売上高は2億40百万円(前年同期比23.2%減)、営業損失は12百万円(前年同期は営業損失8百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は187億88百万円(前期末は190億93百万円)となり、前期末に比べ3億5百万円減少(前期末比1.6%減)しました。主な要因は、現金及び預金の減少1億63百万円、未収入金(流動資産のその他)の減少1億55百万円であります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は144億3百万円(前期末は147億64百万円)となり、前期末に比べ3億61百万円減少(前期末比2.4%減)しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少98百万円、長期借入金の減少84百万円、長期預り保証金の減少21百万円であります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は43億85百万円(前期末は43億29百万円)となり、前期末に比べ55百万円増加(前期末比1.3%増)しました。主な要因は、利益剰余金の増加42百万円、その他有価証券評価差額金の増加14百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月11日発表の予想数値に変更はありません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,678,627	1,515,353
受取手形及び売掛金	480,554	440,624
たな卸資産	461,982	479,759
繰延税金資産	60,785	56,088
その他	341,293	192,552
貸倒引当金	△1,110	△830
流動資産合計	3,022,133	2,683,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,166,885	6,125,296
土地	9,339,792	9,339,792
その他(純額)	194,564	185,291
有形固定資産合計	15,701,243	15,650,380
無形固定資産		
投資その他の資産	9,417	8,521
投資その他の資産		
投資有価証券	280,920	297,845
破産更生債権等	90,173	89,528
その他	76,531	144,702
貸倒引当金	△86,632	△86,145
投資その他の資産合計	360,992	445,931
固定資産合計	16,071,652	16,104,833
資産合計	19,093,785	18,788,381

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	384,203	285,647
短期借入金	338,400	338,400
未払法人税等	29,762	15,345
賞与引当金	32,481	26,210
株主優待引当金	16,338	—
その他	722,073	607,879
流動負債合計	1,523,259	1,273,482
固定負債		
長期借入金	8,807,800	8,723,200
長期預り保証金	1,755,888	1,734,530
繰延税金負債	279	4,580
再評価に係る繰延税金負債	2,211,637	2,211,637
退職給付に係る負債	260,227	256,700
資産除去債務	52,923	53,109
その他	152,183	145,779
固定負債合計	13,240,938	13,129,536
負債合計	14,764,197	14,403,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,000	1,500,000
資本剰余金	503,375	503,375
利益剰余金	△2,658,134	△2,615,715
自己株式	△7,138	△7,159
株主資本合計	△661,897	△619,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,352	6,162
繰延ヘッジ損益	445	5
土地再評価差額金	4,993,002	4,993,002
為替換算調整勘定	5,767	4,601
その他の包括利益累計額合計	4,990,863	5,003,772
新株予約権	622	1,088
純資産合計	4,329,588	4,385,361
負債純資産合計	19,093,785	18,788,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,141,365	1,017,897
売上原価	792,662	712,404
売上総利益	348,703	305,493
販売費及び一般管理費	229,007	209,435
営業利益	119,695	96,058
営業外収益		
受取利息	6	10
受取配当金	2,963	2,962
持分法による投資利益	837	—
還付消費税等	48,324	—
その他	780	549
営業外収益合計	52,913	3,522
営業外費用		
支払利息	35,574	28,643
その他	86,801	4,340
営業外費用合計	122,376	32,984
経常利益	50,232	66,596
特別利益		
出資金売却益	109,743	—
特別利益合計	109,743	—
特別損失		
繰上返済精算金	107,257	—
特別損失合計	107,257	—
税金等調整前四半期純利益	52,718	66,596
法人税、住民税及び事業税	21,133	17,701
法人税等調整額	△107	6,474
法人税等合計	21,025	24,176
四半期純利益	31,692	42,419
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,692	42,419

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	31,692	42,419
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,091	14,514
繰延ヘッジ損益	△58	△439
為替換算調整勘定	△2,127	△1,166
持分法適用会社に対する持分相当額	△29,969	—
その他の包括利益合計	△47,247	12,908
四半期包括利益	△15,554	55,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△15,554	55,328
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	繊維・アパ レル事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	610,836	217,673	312,855	1,141,365	—	1,141,365
セグメント間の内部売上高 又は振替高	114	—	—	114	△114	—
計	610,950	217,673	312,855	1,141,479	△114	1,141,365
セグメント利益又は損失(△)	276,854	△4,800	△8,023	264,031	△144,335	119,695

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△144,335千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	繊維・アパ レル事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	574,869	202,603	240,425	1,017,897	—	1,017,897
セグメント間の内部売上高 又は振替高	114	—	89	203	△203	—
計	574,983	202,603	240,514	1,018,101	△203	1,017,897
セグメント利益又は損失(△)	231,391	△13,106	△12,352	205,931	△109,873	96,058

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△109,873千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。